

デポジット

デジタルコンテンツは、Almaのデポジットモジュールを使用して、学生、研究員、教員などのスタッフ以外の登録ユーザーがAlmaに直接送信できます。送信されたコンテンツには、メタデータと1つ以上のファイルが含まれ、送信と承認により、メタデータレコード、表現、およびファイルとしてAlmaのデジタル目録に追加されます。Almaデポジットを使用するには、デジタル購読が必要です。

ユーザーがデポジットするアイテム例として、学位論文やポッドキャストエピソード、ローカルで作成されたコンテンツなど、ユーザーがAlmaリポジトリに保存したい、またはAlmaリポジトリで利用できるようにしたいアイテムが挙げられます。

ユーザーは、Almaが提供する特別なスタンドアロンインターフェイスを使用してデポジットを作成し（[ユーザーデポジット](#)を照）、機関の資格情報（Primoと同様）を使用してアクセスします。このインターフェイスを使用すると、ユーザーは新しいデポジットを作成し、過去のデポジットの詳細を確認できます。Almaと預金者の間の通信は、Almaのレターからカスタマイズおよび管理できます（[Almaレターの設定](#)を参照）。

管理者は、デポジットを作成する前に、少なくとも1つのデポジットプロファイルを設定する必要があります（[デポジットの設定](#)を参照）。デポジットプロファイルは、メタデータスキーマとフィールド、ターゲットコレクション、自動/手動承認、ファイルサイズの数と形式の制限、ユーザーグループなど、デポジットの処理を決定するルールです。

デポジットは、リポジトリで目録になる前に承認プロセス（自動または手動）を経ます（[デポジットの承認](#)を参照）。承認者は、コンテンツを承認、拒否、または変更のために預金者に返却できます。デポジット承認プロセスは、デポジットプロファイルによって決まります。

図書館スタッフは、ユーザーに代わって預金を作成することもできます（[スタッフを介したデポジット](#)を参照）。これらのデポジットは承認を必要としません。

デジタルリソースの操作の概要については、[デジタルリソースの操作 - 概要](#)を参照してください。

デポジット機能について説明したビデオについては、[デジタルリソースの新しいデポジット機能](#)を参照してください。

詳細については、次のセクションを参照してください。

- [デポジットの設定](#)
- [デポジットプロファイルの管理](#)
- [デポジットの承認](#)
- [ユーザーデポジット](#)
- [スタッフを介したデポジット](#)